



8月23日【土】

10:30 「おかしなおかしな大冒険」

14:00 「ロッタちゃんと赤いじてんしゃ」

8月24日【日】

10:30 「104歳、哲代さんのひとり暮らし」

14:00 「美しい暦」



チケット（1作品）

全席自由

7/5（土）販売開始

当日券の販売は、
開映1時間前です。

●一般：1,000円 ●高校生以下：500円

会場・プレイガイド・お問合せ

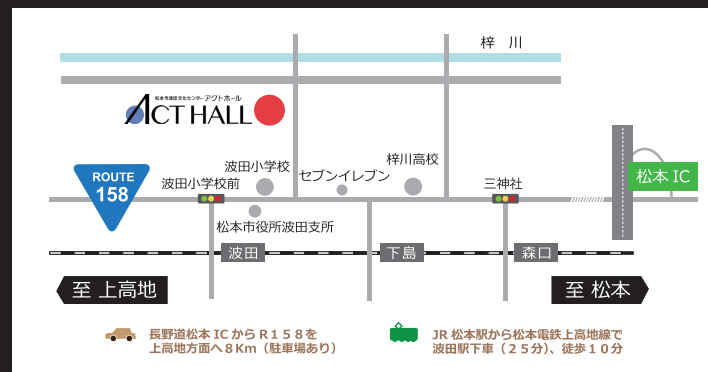
松本市波田文化センター ACTHALL

〒390-1401 長野県松本市波田 10106-1（9時～17時 / 月曜休）

電話 0263-92-7501

窓口 波田文化センター 1階

はた映画上映会



会場 松本市波田文化センターアクトホール

2025

8.23
【土】

10:30 開映

「おかしなおかしな大冒険」

ジャン＝ポール・ベルモンド
ジャクリン・ビセット ほか

14:00 開映

「ロッタちゃんと 赤いじてんしゃ」

グレテ・ハブネショルド
リン・グロッペスタード ほか

8.24
【日】

10:30 開映

「104歳、哲代さんのひとり暮らし」

石井 哲代 ほか

14:00 開映

「美しい暦」 吉永 小百合 / 浜田 光夫 ほか

※開場は開映30分前です。



主催 一般財団法人松本市芸術文化振興財団 企画・協力 NPO 法人松本 CINEMA セレクト 後援 松本市 / 松本市教育委員会

8月23日 土

10:30 開映 おかしなおかしな大冒険 【字幕】



(c)1973/STUDIOCANAL-Nicolsa Levovici-Oceania Produzioni Internazionali Cinematografiche S.R.L. All Rights Reserved

配給：エデン / 1973 年 / 仏・伊 合作映画 / 93 分
監督：フィリップ・ド・ブロカ
音楽：クロード・ボラン

フランソワ・メルラン / ボブ・セント・クレア
：ジャン＝ポール・ベルモンド
クリスティーヌ / タチアナ：ジャクリーン・ビセット
シャロン / カルポフ：ビットリオ・カプリオーリ
マダム・バーガー：モニク・ターベ

「リオの男」「カトマンズの男」の監督フィリップ・ド・ブロカと主演ジャン＝ポール・ベルモンドによる、冒険小説家が自分の作品の主人公となって大暴れる姿を活写したスパイコメディ。

秘密諜報員ボブ・セント・クレアを主人公にしたシリーズで人気を集める小説家フランソワ・メルランは、メキシコ・アカプルコを舞台にした新作を執筆している。自分が主人公になって活躍するのを妄想しながら執筆する彼は、今作では同じアパートに住む女子大生クリスティーヌをヒロインのモデルにし、スパイのタチアナとして登場させることに。ある日、フランソワはクリスティーヌに自分の小説を読んでもらうことになり、彼女がそれを気に入ったことから 2 人の仲は親密になっていくが……。

8月24日 日

10:30 開映 104 歳、哲代さんのひとり暮らし



配給：リガード / 2024 年 / 日本 / 94 分
監督・編集：山本 和宏
撮影：的場 泰平、筒井 俊行
統括プロデューサー：岡本 幸

ナレーション：リリー・フランキー

なんでも美味しく、誰とでも楽しく、いつだってご機嫌に。
そんな哲代さんの 101 歳から 104 歳までの日々をみつめたドキュメンタリー。

広島県尾道市。自然豊かな山あいの町で 100 歳を超えてひとり暮らしを続けている石井哲代さん。小学校の教員として働き、退職後は民生委員として地域のために尽くしてきた。83 歳で夫を見送ってからは、姪や近所の人たちと助けあい、笑いあいながら過ごしている。いりこの味噌汁を作り、家の周りの草をとり、お茶を囲んで語り合う。時には体調を崩して病院にお世話になることもあるが、年齢を重ねてできないことが増えても、哲代さんは自分を上手に励まし、自由な心で暮らしをしなやかに変えていく。

14:00 開映 ロッタちゃんと赤いじてんしゃ 【日本語吹き替え】



(c)1992 AB SVENSK FILMINDUSTRI ALL RIGHTS RESERVED

配給：エデン / 1992 年 / スウェーデン / 78 分
監督・脚本：ヨハンナ・ハルルド
原作：アストリッド・リンドグレン
音楽：ステファン・ニルソン

ロッタ：グレテ・ハブネショルド
ミア：リン・グロッペスタード
ヨナス：マルティン・アンデション
ママ：ベアトリス・イエールオース
パパ：クラス・マルムベリー

スウェーデンの国民的作家アストリッド・リンドグレンによる
名作児童文学「ロッタちゃん」シリーズを映画化。

5 歳の女の子ロッタちゃんと彼女の相棒であるブタのぬいぐるみバムセが、北欧の豊かな自然と大人たちの愛情に包まれながら過ごす春から夏にかけての日々を描く。

ロッタちゃんは風邪をひいてしまい、買い物に行きたいのにママが許してくれない。我慢できない彼女は、黄色いレインコートを着て雨の中へ飛び出していく。春にはパパの運転する車で湖へピクニックに出かけるが、バムセが行方不明になったり、お兄さんのヨナスが溺れそうになったりと大騒ぎ。誕生日、三輪車を卒業して自転車が欲しいロッタちゃんは、隣人の大人用自転車に乗ろうとする。

14:00 開映 美しい暦



配給：日活 / 1963 年 / 日本 / 89 分
監督：三木 克巳
原作：石坂 洋次郎
音楽：渡辺 宙明

矢島 貞子：吉永 小百合 矢島 千絵：丹阿弥 谷津子
田村 邦夫：浜田 光夫 沢田 孝作：内藤 武敏
村尾先生：芦川 いづみ 沢田 民子：奈良岡 朋子
武井先生：長門 裕之 源作：桂 小金治
吉村 春枝：白樹 菜

秀麗な日本アルプスを背景にした町を舞台に、みずみずしい青春を
人気純愛コンビ吉永・浜田で謳いあげる花の文芸青春大ロマン。

矢島貞子は高校三年生で明るい質屋の娘。学校には、若くてハンサムな赴任したばかりの武井先生や、尊敬する化学の村尾先生がいて楽しい毎日である。今日も昼間、貞子たちの前で武井と村尾は授業法についてモウレツな議論を闘わした。若い二人の先生の間にほのぼのとしたものが芽生えているのをかぎつけたのも、敏感な貞子達であった。そうした貞子にも、ふと思い出す顔がある。一ヶ月前登山で知りあった高校生、田村邦夫の姿である――。

ロケ地のひとつに松本が選ばれ、松本城はもちろんのこと、古きよき松本地域の自然風景がたくさん登場します。当時をご存じの方は懐かしく、ご存じない方は新鮮な気持ちでお楽しみください。